



ご当地 よ坊さん 茨城

No.581

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

November

2017
平成29年

11

茨 歯 会 報



Contents

デンタルアイ	1
征矢 亘	
会務	3
理事会報告	6
会務日誌	8
医療管理委員会	11
専門学校だより	16
地区歯科医師会だより	17
(社)水戸市歯科医師会	
リレー通信	19
櫻川 次郎	
レディースコーナー	21
國府田 美葉	
会員の異動	23
追悼	25
赤えんぴつ	26

表紙写真について

平成29年度「歯と口の健康に関するポスター」
中学生の部 知事賞 田口 綾華さんの作品

DENTAL eye

茨城歯科専門学校 の 学校長に就任して



副会長
征 矢 亘

本年4月に茨城歯科専門学校校長を拝命いたしました征矢です。本校は、昭和44年に茨城県歯科衛生士学院として水戸市五軒町の茨城県歯科医師会館内に開校しました。卒業生も既に三千百余名を数え、今年49年目を迎えております。この歴史ある茨城歯科専門学校ですが、現在色々問題が出ております。大きくには2つあり、1つは衛生士科、技工士科とも定員割れが起きております。現在少子化が進み、なおかつ好景気であるため、高校生の職業選択肢が増えていることが原因の一つかと分析しております。定員を満たすために、各高等学校の進路指導の先生方に直接お会いし、歯科医療の素晴らしさ、生涯利用出来る資格の取得を目的とした学校であることを強調するとともに、県立高校の校長経験者にお願いし、一緒に学校訪問を同行して頂いております。しかし、これと言った特効薬はなく、過去の活動実績を見ると、高校の学校医が歯科検診時や学校活動時に、歯科医療の素晴らしさを直接高校生に話すのが非常に効果が高いことがわかってきました。高校と言わず中学でも各学校歯科医の先生方に本校受験を薦めることをお願い申し上げます。

又、2つめの問題ですが、歯科技工士科は全国共通の国家試験となっても合格率は100%で

す。しかし、残念なことに衛生士科において本年度合格率が全国平均を下回ってしまいました。これは由々しきことであり、学生にとって国家資格取得が最終目標にも関わらず、取得できないということは、本人だけでなくご両親にも多大なご迷惑をおかけしていることとなり、最重要課題と認識しております。この問題解決のため最初に行ったことは、他校の訪問視察でした。県内にある広沢学園つくば歯科衛生専門学校や、千葉県の日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校及び、北原学院歯科衛生専門学校、東京歯科大学短期大学歯科衛生士科等を視察見学してきました。又、日大松戸の平塚校長には、国試対策の方法について本学にお呼びし、国試問題の分析方法や指導方法、その他多くの学校運営に関する事など細かに教えていただきました。3学年の試験は、なるべく国試と同じようにするため、マークシート方式を取り入れ、即座に回答、成績の分析を行い、できない問題の何が原因かを今後更に詰めていきます。そのため、専任教諭の仕事を見直し、学生への指導時間を増やしました。試験の成績も掲示板に張り出し、常に学生のやる気スイッチを入れるべくあの手、この手での指導を考案し、また民間業者の勉強法も導入し、本年度国試合

格100%を目指し教職員全員でがんばっております。

又、学生代表と直接の対話を行い、学生の希望を取り入れられることは最大限取り入れ、青春の1ページである楽しい学生生活を謳歌してもらい、ひいては後輩に本校を推薦してもらえようように校長として最大限の努力をしております。

その他の問題として、卒業直後に就職した歯科医院を数ヶ月という非常に短期間で離職してしまう学生が毎年おります。この改善に向

けて、本年度から就職ガイダンスを開催しました。募集する歯科医院が自らの医院を紹介し、尚且つ各ブースに別れ、学生からの質問に答える方式を取り入れ、ミスマッチが起きない方法を試行錯誤しております。

学校改革は今始めたばかりで、多くの問題課題が山積みですが、一つ一つ解決してゆきます。また、来年は開設50周年にあたり、歴史ある素晴らしい学校構築のため、皆様方の更なるご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



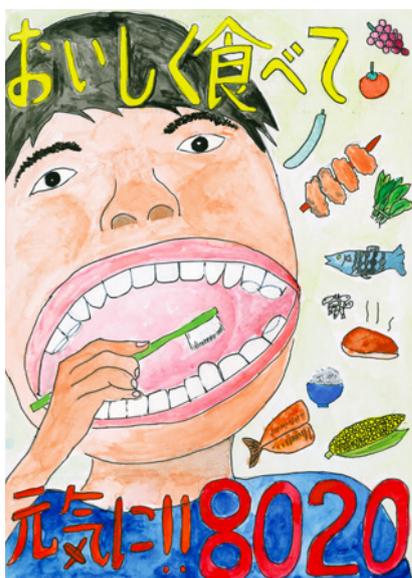
会務

平成29年度歯のポスター優秀作品決まる

平成29年度「歯と口の健康に関するポスターコンクール」第2次審査会が9月20日（水）午後2時から茨歯会館において開催された。

今年は、第1次審査に小学校618点、中学校93点の応募があり、厳正な審査の結果、次のとおり決定した。

小 学 校 の 部



知事賞 篠崎 龍之介
筑西市立五所小学校6年



歯科医師会長賞 内田 柚奏
牛久市立中根小学校3年



教育長賞 石上 琴美
石岡市立杉並小学校3年

中 学 校 の 部



歯科医師会長賞 指首 雄太
古河市立三和北中学校 1年



教育長賞 石川 芳輝
常陸太田市立峰山中学校 2年



知事賞 田口 綾華
常総市立水海道中学校 3年

平成29年度 歯と口の健康に関するポスターコンクール入賞者名簿

小学校の部

賞名	氏名	学年	学校名
知事賞	篠崎 龍之介	6年	筑西市立五所小学校
教育長賞	石上 琴美	3年	石岡市立杉並小学校
歯科医師会長賞	内田 柚奏	3年	牛久市立中根小学校
優秀賞	今泉 穂香	6年	潮来市立大生原小学校
	鴨下 彩音	6年	つくば市立光輝学園手代木南小学校
	飯島 立生	6年	桜川市立大国土小学校
	高橋 侑大	3年	古河市立古河第一小学校
	平塚 深梨	3年	古河市立上大野小学校
佳作	平野 郁佳	3年	ひたちなか市立津田小学校
	菊池 愛菜	3年	那珂市立額田小学校
	櫻井 真由	3年	潮来市立牛堀小学校
	山方 こはる	3年	守谷市立御所ヶ丘小学校
	池田 明美花	6年	石岡市立府中小学校
	飯島 弥璃愛	3年	石岡市立三村小学校
	加藤 里佳子	6年	石岡市立柿岡小学校
	新井 菜花	6年	筑西市立下館小学校
	松崎 有海	3年	下妻市立高道祖小学校
	小林 拓海	6年	茨城県立友部特別支援学校

中学校の部

賞名	氏名	学年	学校名
知事賞	田口 綾華	3年	常総市立水海道中学校
教育長賞	石川 芳輝	2年	常陸太田市立峰山中学校
歯科医師会長賞	指首 雄太	1年	古河市立三和北中学校
優秀賞	高野 ひなた	2年	笠間市立友部中学校
	関 瑞希	3年	鉾田市立鉾田北中学校
	飯田 彩夏	3年	守谷市立けやき台中学校
佳作	小田部 莉緒	3年	水戸市立赤塚中学校
	金澤 亜美	2年	茨城町立明光中学校
	平山 明依	3年	ひたちなか市立勝田第一中学校
	久村 歩夢	1年	結城市立結城東中学校
	久保田 美希	3年	茨城県立友部特別支援学校

理事会報告

第7回理事会

日時 平成29年9月21日（木）16時

場所 茨城県歯科医師会館 会議室

1. 報告

- (1) 一般会務報告
- (2) 退会について
- (3) 後援依頼について
 - 【県保健予防課】
茨城県がん検診推進強化月間
第16回認知症フォーラム in いばらき
 - 【県作業療法士会】
後援名義の使用
 - 【県社会福祉協議会】
第67回茨城県社会福祉大会の協賛依頼
県総合リハビリテーションケア学会学術集会
- (4) 【取手市歯科医師会主催】第24回「いい歯の日の催し」ご後援・ご支援のお願い
- (5) 【日立・潮来・桜川】市町村医療福祉費支給制度（市町村単独事業分）の対象範囲の拡大等について
- (6) 9月開業予定の歯科医院について
- (7) JMAT茨城研修会について（平成30年3月11日（日））
水戸医療センターにおいて開催する予定
- (8) 各委員会報告について
学術委員会、厚生委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

2. 協議事項

- (1) 入会申込の受理について
菊地 正高氏（日立地区）
小野 康寛氏（珂北地区）
仮谷 太良氏（土浦石岡地区）
塚本 佳世氏（土浦石岡地区）
上記4名の入会を受理した。
- (2) 12月7日研修会の報償費について
標記報償費について承認した。
- (3) 学会・大会出張について
標記について承認した。
- (4) 口腔ケア講習会講師謝礼について
標記講師謝礼について承認した。
- (5) 災害時の医療救護活動に関する協定【技工士会】
標記協定について承認した。
- (6) 義歯刻名事業申請書について（歯科技工士会）
標記申請書について承認した。
- (7) 防災危機小委員会委員の承認について
標記小委員会委員について承認した。
- (8) HIV患者の歯科治療について
病院口腔外科の対応を確認し、患者の病院対応をお願いすることについて承認した。
- (9) 介護保険講習会の会場使用料について
標記について継続して審議することとした。
- (10) 会費・負担金等未納者への対応について
10月末までに未納の場合、退会手続きを進めることについて承認した。
- (11) 茨城放送高齢者介護サポートキャンペーンについて

- 標記について参加しないこととした。
- (12) 茨城県歯科医師会口腔センター土浦開所式
開催（案）について
標記開所式開催について承認した。
- (13) 心身障害児・者歯科講習会開催について
標記講習会開催について承認した。
- (14) いい歯の日広報について
標記について承認した。
- (15) 診療を終えた会員種別について（継続）
標記について再度継続して審議することとした
- (16) 県ユニセフ協会 第2回茨城県チャリティ
ゴルフ大会協賛提供品のお願い
県医師会と歩調を合わせることに
ついて承認した。
- (17) 奥羽大学との災害時協力に関する協定につ
いて（更新）
標記協定の更新について承認した。
- (18) 茨歯会警察歯科医協議会開催について（12
月3日（日）茨歯会館）
標記協議会開催について承認した。
- (19) 永年勤続従業員表彰について
今年度までで終了とすることについて承認
した。
- (20) 保健福祉部との懇談会提出議題について
標記提出議題について承認した。
- (21) その他
「北関東ブロック研修大会 in いばらき」
への展示ブースご出展のお願いについて
標記展示ブースの出展について承認した。



株式会社 岩瀬歯科商会



昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。
皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

イワセオリジナルユニット
**SIGNO
NEXT**

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、
ワンランク上のラグジュアリー空間と
心地よさを演出します。



岩瀬歯科 株式会社
iwase Dental Supply Inc.

事業所案内

本社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770

<p>■ 一般社団法人 岩瀬歯科商会 〒320-0801 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6 TEL:028-613-5858</p>	<p>■ 株式会社 岩瀬歯科商会 〒320-0801 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6 TEL:028-613-5858</p>	<p>■ 株式会社 モリタ東京製作所 本社〒100-0001 東京都千代田区上野2-11-24 TEL:048-592-1315 伊原工場 〒350-0114 埼玉県北足立郡伊原町小室7129 TEL:048-723-2621</p>	<p>■ 株式会社 モリタ 大阪本社 〒535-0851 大阪府吹田市豊水3-33-18 TEL:06-6380-2525 東京本社 〒100-0001 東京都台東区上野2-11-18 TEL:03-3834-6161</p>
---	---	---	---

会務日誌

- 9月21日 児童虐待早期発見歯科プロジェクトチーム委員会を開催。正副委員長選任、本年度事業計画の実施について協議を行った。
出席者 森永虐待早歯PT委員長ほか7名
- 9月21日 第7回理事会を開催。入会申込の受理、12月7日研修会の報償費、学会・大会出張、口腔ケア講習会講師謝礼、災害時の医療救護活動に関する協定、義歯刻名事業申請書について（歯科技工士会）、防災危機小委員会委員の承認、HIV患者の歯科治療、介護保険講習会の会場使用料、会費・負担金等未納者への対応、茨城放送高齢者介護サポートキャンペーン、茨城県歯科医師会口腔センター土浦開所式開催（案）、心身障害児・者歯科講習会開催、いい歯の日広報、診療を終えた会員種別について、県ユニセフ協会第2回茨城県チャリティゴルフ大会協賛提供品のお願い、奥羽大学との災害時協力に関する協定、茨歯会警察歯科医協議会開催、永年勤続従業員表彰、保健福祉部との懇談会提出議題について協議を行った。
出席者 森永会長ほか18名
- 9月21日 第1回防災危機管理小委員会を開催。組織構成の変更、委員長等の選出、県歯防災備蓄物資の備蓄状況報告、発災時の本部立ち上げ、奥羽大学との医療救護活動協定の締結（更新）、警察歯科協議会の開催予定および内容、神奈川歯科大学「歯科身元確認研修会」、県総合防災訓練、第4回JMAT茨城研修会、大規模災害時の人員県外派遣の手順確認について協議を行った。
出席者 櫻川防災危機管理小委員長ほか13名
- 9月21日 茨城県歯科技工士会と本会との間で災害時の歯科医療救護についての協定を締結し、その調印式を行った。
出席者 森永会長ほか5名
- 9月24日 いばらき国体に向けて、選手への全身管理に基づいた歯科的サポートができる実践能力を有する人材の育成を目的とした、茨城県歯科医師会認定スポーツデンティスト養成講習会を開催。講義・実習・スポーツ現場研修を行う予定で、今回はその第1回目の講義を行った。
受講者 44名
- 9月25日 日本補綴歯科学会東関東支部第1回理事会が東京都内にて開催された。
出席者 今湊理事
- 9月26日 摂食嚥下研修会の第3回目を開催。「摂食嚥下機能訓練の実際①」の研修を行った。
受講者 65名
- 9月27日 第2回いばらき高齢者プラン21推進委員会が県開発公社にて開催され、「いばらき高齢者プラン21第7期」の基本的な考え方について協議が行われた。
出席者 森永会長

- 9月27日 県総合リハビリテーションケア学会理事会がつくば国際大学第2キャンパスにて開催され、次期理事長の選出ほかについて審議が行われた。
出席者 森永会長
- 9月27日 未就業歯科衛生士復職支援のための講習会を神栖市「新扇歯科医院」にて開催。プロビング、PMTC、超音波スケーラー、キュレットタージの実習と質疑応答を行った後、希望者に対して就職相談を実施した。
受講者 3名
- 9月28日 保険医療機関を対象とした個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
対象医療機関数 6
- 9月28日 日本歯科医師会第6回理事会が日歯会館にて開催され、時局対策、日歯会長選挙のあり方について協議が行われた。
出席者 森永日歯代議員会副議長
- 9月30日 第2回医療管理委員会を土浦市内にて開催。各地区での復職支援講習会を衛生士の確実な復職につなげる手段、地域の会員・衛生士に対しての効果的な広報のありかた、スマホを利用した復職支援講習会の検索・申し込み・求人情報の確認について協議した。
出席者 大字医療管理部長ほか10名
- 9月30日 専門学校にて第3回体験入学を実施。歯科衛生士科31名、歯科技工士科5名の参加者に対して学校施設説明などを行った。
- 10月 1日 スタッフセミナーを土浦市にて開催。「接遇マナー・意識向上」について元日本航空客室乗員訓練部教官・政府専用機初代担任教官 小原孝子先生が講義された。
受講者 36名
- 10月 1日 支払基金主催の保険診療と審査を考えるフォーラムが県民文化センターにて開催される。本会森永会長がパネリストとして「医療の高度化と保険財政」について講演した。
出席者 森永会長
- 10月 5日 第22回地区歯科医師会対抗親善ソフトボール大会を水戸市総合運動公園軟式野球場にて開催。今回は水戸市歯科医師会が主管、県内8チームが出場。鹿行歯科医師会「鹿行アントラズアンドレイクス」が8年ぶり3度目の優勝を飾り、準優勝は水戸市歯科医師会であった。
参加者 151名
- 10月 5日 関東信越国税局管内税務指導者協議会が宇都宮市「ホテル東日本宇都宮」にて開催される。第1部では管内各歯科医師会からの現況報告と提出議題についての協議が行われ、その後日歯税務・青色申告委員会委員 近藤博希先生が「医療税制に対する日歯の取り組みについて」について、日歯嘱託税理士 丸山定夫先生が「29年度税制改正と歯科クリニックの経営改善」について講演された。
国税局担当官を交えての第2部では、国税局管内における税務の現況、税務諸問題と会員指導について協議が行われた。
出席者 大字常務ほか2名

- 10月11日 第6回社会保険正副委員長会議を開催。第6回委員会、指導、社会保険指導者研修会、審査委員連絡協議会の各県提出議題、疑義、理事会、審査内容について協議を行った。
出席者 榊社会保険部長ほか2名
- 10月11日 第6回社会保険委員会を開催。審査委員連絡協議会の各県提出議題、竹上先生保険講習会の事前質問の回答、疑義について協議を行った。
出席者 榊社会保険部長ほか20名
- 10月12日 第7回歯科助手講習会を開催。「救急処置」「歯科X線、歯科麻酔」「感染予防、安全管理、歯周治療」について講義を行った。
受講者 44名
- 10月12日 新規に指定された保険医療機関に対する集団指導が厚生局茨城事務所にて行われた。
対象医療機関数 13
- 10月12日 第1回裁定委員会を開催。委員長に池野哲之氏、副委員長に仁平哲夫氏を選出し、裁定委員の職務について協議を行った。
出席者 池野裁定委員長ほか6名
- 10月12日 第3回茨城型地域包括ケアシステム推進センター運営協議会が県医師会にて開催された。
出席者 森永会長
- 10月16日 社会保険指導者研修会が日本教育会館にて開催され、「地域の中の歯科医療（地域包括ケアシステムを中心として）」についての研修内容で4題の講演が行われ、2つの事例が紹介された。
出席者 榊社会保険部長ほか5名

医療+管理委員会 だより

歯科衛生士復職支援講習会 鹿行地区開催

医療管理委員会 篠塚 浩

平成29年9月27日（水）、歯科衛生士復職支援講習会を神栖市の新扇歯科医院にて行いました。この講習会を鹿行地区で開催するのは今回が初めてです。

今回も茨城県歯科衛生士会のご協力を得て、岩村昌子茨城県歯科衛生士会副会長に講師をして頂きました。

岩村副会長には本年3月の県南地区牛久市開催の時にも講師をお願いしており、地区開催の歯科医院での講習会に慣れているため大変スムーズに進行出来ました。

鹿行地区には近隣に歯科衛生士専門学校も無く、参加応募者がいるか心配されましたが、今回は神栖市在住の3名の参加者がありました。2名は神栖市の広報を見て、1名は歯科医院内に掲示されたポスターを見ての申し込みです。

会場を提供して頂いた新扇歯科医院の鈴木伸之先生、鈴木治津子先生にご協力いただき、また今村歯科衛生士にもアシスタントとしてお手伝いしていただきました。予定通り10時に開講式を行



い、暫し院内見学をしてから、まずDVDを観ながらプロービング、超音波スケーラー、ハンドスケーラーによるキュレットアージュの基礎について思い出してもらい、その後相互実習を行いました。

はじめ受講生達はブランクが長いので不安だと言っていました。今回の参加者は7年から10年の就業経験があり、すぐに昔の経験の記憶が蘇って来ているように見えました。

講習会の後はお茶を飲みながら全員で談話をしました。リラックスした雰囲気の中で彼女たちの忌憚のない意見を聞く事が出来ました。復職に当たり心配な事は、ブランクによる知識の不足、短時間の勤務でも需要があるのか、職場の人間関係が不安などでした。

歯科衛生士不足の現状を話し、彼女たちが求められている存在だと話すと、次第に復帰に前向きになって来ていました。

もともと早期の復帰は考えていなかった様でしたが、1年以内、条件さえ合えば直ぐにでも復帰したいと気持ちが変わり、茨城県歯科医師会無料職業相談所の求人情報に興味深く見てくれました。鹿行地区から求人情報に掲載されていない追加の求人もある事を話し、無料職業紹介所のHPのアクセスの仕方を教え、自分に合った歯科医院を探し、歯科医師会事務局の方に連絡をする様に話しました。

予定より少し遅れましたが12時20分に閉講式を行い、求職票を渡し解散いたしました。

今回の復職支援講習会が即復職につながったか

はまだ分かりませんが、休職中の歯科衛生士がどれ位いるのか分からなかった当地区で、3名の復職意欲のある衛生士を掘り起こせたのは一定の成果だと思われます。

開催地の神栖市の歯科医院から求人が無かったのは残念でしたが、開催日直前に支部メーリングリストで告知したところ、鹿行歯科医師会内から3件の追加求人がありました。今後は地区開催の広報等をしっかり行い、情報を共有する必要があると感じました。

初めての復職支援講習会の当地区開催で、不慣れなため改善すべき点多々あると思いますが、会員の皆様もご協力をよろしくお願いいたします。



茨歯会無料職業紹介所

<http://work.ibasikai.or.jp/>

歯科衛生士復職支援講習会アンケート結果

H29.9.27 (受講者3名)

Q1 この講習会の事を何で知りましたか？

- | | |
|--------------|---|
| A1. 歯科医院の広告 | 1 |
| A2. ホームページ | 0 |
| A3. 友人・知人の紹介 | 1 |
| A4. 真珠会お知らせ | 0 |
| A5. 衛生士会お知らせ | 0 |
| A6. 茨城新聞 | 0 |
| A7. NHKデータ放送 | 0 |
| A8. 広報かみす | 2 |

Q2 講義の内容はどうでしたか？

- | | |
|-----------|---|
| A1. 丁度よい | 3 |
| A2. 物足りない | 0 |

Q3 実習内容はどうでしたか？

- | | |
|-----------|---|
| A1. 丁度よい | 3 |
| A2. 物足りない | 0 |

Q4 復職にあたって気になることは？

(複数回答可)

- | | |
|-------------|---|
| A1. 給与・待遇 | 0 |
| A2. 勤務時間 | 2 |
| A3. 職場の人間関係 | 1 |
| A4. その他 | |

(ブランクがあるので心配です)

Q5 御友達に復職を考えている衛生士さんはいますか？

- | | |
|---------|---|
| A1. いる | 0 |
| A2. いない | 3 |

Q6 復職の時期は

- | | |
|----------------|---|
| A1. 3か月以内 | 0 |
| A2. 1年以内 | 2 |
| A3. 1年以上 | 1 |
| A4. 条件が合えばいつでも | 1 |

Q7 ご意見・ご希望があれば何でもお書き下さい

このような機会があると、とてもありがたいです。

復職を考えていてもなかなかタイミングが合わず、ブランクばかり長くなっていくので、知識技術など心配な事がたくさんあるので勉強させていただく場が有りとてもありがたかったです。

平成29年度第1回スタッフセミナー報告

医療管理委員会 篠塚 浩

本年度1回目のスタッフセミナーが10月1日（日）、土浦市の県南生涯学習センターにて開催されました。今回は36名の医院スタッフが受講し、院長先生も1名見学されました。

講師には前回から引き続き小原孝子先生をお招きし、他2名のアシスタントの先生にもお手伝いいただきました。

小原先生は、日本航空客室乗務員として約20年間勤務され、その後は客室乗務員訓練部教官、政府専用機初代担任教官などの管理職を歴任されました。

現在は、日本マナーOJTインストラクター協会認定講師として多方面でご活躍され、自治体やホテル、銀行、その他様々な企業での講師経験がある方です。

今回のセミナーは10時から15時までで、次のような内容で行われました。



「PS（患者様満足）向上研修—より一層の患者様満足のために—」

1. はじめに～医療従事者に必要な接客とは

- *一般的なサービス業との接客の違いは、そもそも患者は具合が悪い、痛い等の「負の

感情」を持って来院することである。

- *歯科スタッフの接客では、「負の感情」を持った患者と十分コミュニケーションをとる（相手の言い分を良く聞いてあげる）事が大切である。
- *患者に満足してもらい「ありがとう」と言われるには、1人で働いているのではなく全員で働くという気持ちを持つことである。
- *マナーとは「思いやりの心」である。
- *子供は本能で笑うが、大人は笑うからお互いが楽しくなる。作り笑顔（セルフプロデュース）は必要である。

2. マナー5原則

- *表情、挨拶、身だしなみ、話し方、仕草・態度
- *笑顔の目的は、相手に親近感を与えるためである。
- *笑顔を条件反射にしてほしい。
- *気持ちを穏やかに保つ心、穏やかな気持ちを表すための目、笑顔の口元が安心感を与える。
- *スマイルトレーニング（笑顔の作り方の練習）

3. 美しい姿勢、お辞儀

- *美しい姿勢の練習
- *お辞儀は挨拶の持つ「心を開く・心に迫る」という意味を忘れずに丁寧に行う事が必要である。
- *スマートなお辞儀のポイント

- *お辞儀の種類（目礼、会釈、敬礼、最敬礼）
- *「パーソナルスペース」とは、知らない人、親しくない人に入って欲しくないスペースである。一般的には横20cm、ななめ45cm、正面90cmと言われている。
- *歯科医院では「パーソナルスペース」に入らざるを得ないため、安全・安心を伝える「温かい」対応が必要である。



4. 第一印象

- *見た目等の瞬間印象（0.6秒～6秒）が大切である。
- *身だしなみチェックの3つのポイントは、
 - 1) 清潔・清潔感
 - 2) 機能性
 - 3) 周囲との調和 である
- *相手に共感性を与えること
- *相手にどう見えているか（第三者満足）を考える
- *我流なおしゃれをする事は自己満足である

5. 感じのよい話し方・電話対応

- *感じの良い話し方のコツ
- *敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）
- *クッション言葉…申し訳ありませんが、恐れ入りますが
- *肯定的否定…生憎、〇〇致しかねます

- *依頼文／形…お願い出来ますでしょうか？

*電話対応6つのルール

- 1) 3コール以内に出る
- 2) 最初の名乗りをしっかりと
- 3) 相手を待たせない
- 4) いきなり本題に入らない
- 5) 連絡事項は正確に
- 6) 終わりの挨拶は丁寧に

*ロールプレイング（受電、掛電の練習）

- *プロ意識を持つ（来院する患者にとってスタッフは新人・ベテラン関係無く全員がプロである）

6. クレーム対応

- *クレームの発生源を理解する

*クレーム対応手順

- 1) お詫びする（不快な思いをさせたことに対して）
- 2) 相手の話しを聴く（傾聴）
- 3) 相手の気持ちを理解する（心情理解）
- 4) 事実確認
- 5) 解決案・代替案の提示
- 6) お詫びと感謝

- *期待値と現実のギャップが大きいと起こる

- *不満・不安・不審・不便・不経済の解消に努める

7. まとめ／ふりかえり

- *何を学べたか？

- *今後どう生かしますか？

相手に好感をもたれる挨拶の仕方、電話での話し方、普段我々が注意しにくい歯科医院スタッフとしてふさわしい化粧や髪形について、クレーム対応など、上記の様に多岐にわたり非常に密度の濃い内容でした。

昼休憩を1時間はさんと、みっちり4時間のセ

セミナーです。せっかくの日曜日がほぼ1日拘束されてしまう訳ですから、中にはあまり前向きではない気持ちで会場に来たスタッフもいたかもしれません。初めは講師側からの一方通行に感じられていた会場の雰囲気でしたが、次第に小原先生の巧みな話術に引き込まれて行き、受講生達の姿勢も前のめりになって行く様子でした。

時に厳しくもありながら説得力のある指導、話し方はやはり専門家ならではの感心しました。

また講師とそれをサポートする2人のアシスタントの先生方とのチームワークが非常に良く、小原先生から言葉の指示がなくてもアイコンタクトによって静かに手際良く動く様子は、私たち歯科医院の日常診療にも参考になると感じました。

終了後は受講生の皆さんも疲れたと思います。しかし、セミナーの初めと終わりでは皆さんの笑顔、挨拶の仕方に明らかな違いが現れていました。必ずや明日からの仕事に生かされていくものと思います。

なおセミナー終了後には、院長先生宛に受講生講師所感をお送りしています。

このセミナーは年2回開催されています。今回は来年2月に古河地区で開催される予定です。まだスタッフを参加させてもらっていない医院の方は、是非参加をご検討して下さい。またお時間がありましたら先生方も一度ご見学なさってみては如何でしょうか？





【戴帽式】

9月7日（木）歯科医師会館の講堂に於いて、
歯科衛生士科48期生、52名の戴帽式が挙
行されました。

多くの来賓、父兄の方がご列席して下さり、
厳粛な雰囲気の中、ナイチンゲール像にろうそくの
灯がともされました。征矢校長先生よりナース
キャップを戴き、親火から自分のろうそくに灯り
をとめた戴帽生の顔は真剣であり、入学してから

の1年半の成長を感じると共に、これから歯科衛
生士の道を進んでいく決意を新たにしたのではな
いかと思います。

歯科衛生士会会長の芹澤様より「暗闇は患者の
不安や憂いであり、ろうそくの灯は、私たち歯科
衛生士の優しさや温かさである」というお言葉を
頂きました。今回戴帽式を迎えた48期生にも、ろ
うそくの灯の様に患者を明るく照らす存在になっ
て欲しいと思います。

（文責 別府）



◇◆◇ 水戸市歯科医師会 学術講演会のご案内 ◇◆◇

がんに限らず、歯科と医科の連携が重要なのは今や言うまでもありません。今回の学術講演会では、今年の4月に開設された茨城県立中央病院口腔外科の歯科口腔外科部長 大木宏介先生、同 腫瘍内科部長 石黒慎吾先生、石岡第一病院口腔外科部長 筑波大学臨床教授 萩原敏之先生の3名の先生方をお迎えして「がん医科歯科連携の現状と今後」というテーマでご講演をお願いしました。医科歯科連携の現状を把握し、これから発展させていく上で何が必要か？を歯科医師会会員の先生方とともに考えていくきっかけになればと思います。ぜひ先生・スタッフの方々と一緒に参加くださいますようお願い申し上げます。

統一テーマ：明日の臨床に活かす

今回の演題：「がん医科歯科連携の現状と今後」

講師：大木宏介先生 茨城県立中央病院歯科口腔外科部長
石黒慎吾先生 茨城県立中央病院腫瘍内科部長
萩原敏之先生 石岡第一病院口腔外科部長

日時：平成29年11月26日（日曜日） 10：00～13：00

場所：茨城県歯科医師会館 3F 講堂

参加者：歯科医師・歯科衛生士・その他歯科医療従事者

会費：無料



大木宏介先生

講演テーマ

『茨城県立中央病院におけるがん医科歯科連携について』

茨城県立中央病院歯科口腔外科は平成29年4月に歯科医師1名体制で開設された。主に当院（医科）で『がん治療』を受けていただく患者様の『周術期口腔機能管理』を行い、計画された『がん治療』がお口のトラブルで滞ることのないようサポートすることを重視している。そのほか、一般の歯科診療所に対応困難な顎口腔領域の口腔外科疾患を対象に治療を行っている。本講演では当科の現状報告と、今後のがん

医科歯科連携および病診連携の展望に関してご説明したい。

【略歴】

2000年3月 東北大学歯学部卒業
2006年4月～2011年3月 東北大学大学院歯学研究科 口腔病態外科学講座 顎顔面外科学分野 助教
2011年4月～2017年3月 (公社)地域医療振興協会 石岡第一病院 口腔外科 常勤医
2017年4月～現在 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 歯科口腔外科 部長

石黒慎吾先生

講演テーマ

『医科の治療成功に大いに影響する歯科医師に期待される医科歯科連携能力とは』

がん治療に限らず、医科の行っている治療において歯科医師による口腔衛生管理での支援の重要性は益々大きくなってきている。がん治療の現場、免疫抑制状態になる病態など、事例をあげて医科から歯科医師に期待する役割、連携能力をあきらかにして、これからの茨城の医療のレベルアップを図りたい。

【略歴】

岐阜県出身
1986年 富山医科薬科大学(現富山大学)薬学部卒業 薬剤師免許取得
1994年 筑波大学医学専門学群卒業
2014年5月～ 茨城県立中央病院腫瘍内科勤務
2015年4月～ 腫瘍内科部長(消化器がん、乳がん担当)

萩原敏之先生

講演テーマ

『どうすれば進む？ がん医科歯科連携—歯科側の対応について—』

歯科診療報酬に周術期口腔機能管理料が導入されてから5年がたったが、未だに十分な周術期口腔管理が行われていないのが現状である。医科側にも問題は多いが、歯科側にも乗り越えるべきいくつかの問題がある。たとえば、全身的疾患をもつ患者への治療リスク、情報交換の煩雑さ、医師との直接的接点のなさ、などである。この講演では、これらの問題をあぶり出し、解決法を探っていきたいと思う。

【略歴】

1957年 茨城県生まれ
1983年 岩手医科大学歯学部卒業
2008年～ (公社)地域医療振興協会石岡第一病院 口腔外科部長
2012年～ 茨城県立中央病院 歯科口腔外科兼任
2015年～ 筑波大学臨床教授(病院)

登録システム短縮コード：152561

ICカードをご持参ください

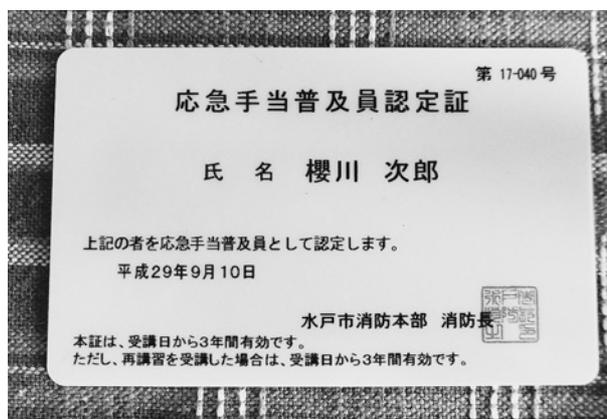


応急手当普及員って知っていますか？

(社)水戸市歯科医師会 櫻川 次郎

ついに来てしまいました。前回リレー通信に書かせていただき、5年ほどが経ったでしょうか？前回の時にもこんな冒頭だったと思いますが、正直私は本当に皆さんにお話しできるような、ある程度極めた趣味とか、ずっと続けているような事が皆無の人間です（実は前に高校の同級生でもある人からの依頼を、書くネタがないことを理由に断っています）。そんな私に、公私ともにお世話になっている深谷先生から「今度のリレー通信を」とお願いされたのが約1か月前、その時は直接お願いされたこともあり、1度断っていることもあったので引き受けることにしました。そこからこの原稿を書いている今まで、ずっと何を書こうか考えていました。ゴルフは下手の横好きで続けていますが、本当に下手で話せるようなレベルではありませんし、前回書かせていただいたオリジナル焼酎は最近作っていません。旅行もそんなに行くような人間ではありませんので本当にネタがないのです。そんな中、苦肉の策として、おそらく会員の先生方の中でもあまり持っていない、あまり聞き慣れない資格についてお話しさせていただこうと思います。真面目な話で、面白おかしくは話せないと思いますが、少しお時間をください。

まず応急手当普及員とは何かを説明いたします。主として事務所や防災組織等において、その事業所等の従業員・構成員に対し、応急手当講習（心肺蘇生法やAEDの使用方法など）の指導を行う者



として、各市町村の消防長が認定した方を言います（私の場合、水戸市消防長により認定されています）。主な活動としましては、皆さんが歯科医師会などの講習あるいは一般のものでも、一度くらいは受けた事があるかもしれない救急救命の講義・実技指導を行ったり、マラソンなどのイベントでAEDを持って走路の脇に立ち、もしもの場合には動いたりしています。

私がこの資格を取るきっかけとなったのは、当時所属していた水歯会の医療管理委員会が年1回の救急救命講習を仕切っていたことにあります。水歯会では、それまで救急普及協会の人に来てもらい指導を受けていたのですが、その当時の副会長が「この資格は、応急手当普及員という資格を取ると我々が自分で講習会を開けるらしいよ。」と軽く言ったことに端を発します。そこから調べてみると、水戸地区では年に1回、平日の3日間を

使い、1日8時間の講義・実習を受け、試験に受かると取れることが判明しました。このことを知った私たちではありましたが、正直私は平日の3日間医院を休みにして、この資格を取ることにためらいがありました。資格の取り方はわかりましたが、私は委員会の中で「この資格を取ってみよう」という当時の大澤理事（現水戸市歯科医師会会長）の言葉に首を縦には振りませんでした。結局その年は、その大澤理事と現在、県の医療管理委員会で活躍されている鈴木先生の2人が取ることになりました。こうして水歯会には2人の普及員が誕生する訳です。この2人が資格を取ってくれ、のちに水歯会がこの協会の正会員になったことで、その後のこの方面での活動はどんどんスムーズになっていくのですが、それはまた別の話です。ですのでここでは割愛させていただきます。

さて、このような経緯があり、この二人がその後、水歯会の講習だけではなく、衛生士学校や県歯の助手講習会で指導していく姿を見ていくうちに、私の中で徐々にこのお二人をお手伝いしなくては、との思いが大きくなっていくのです。そして3年前の12月についに私もこの資格を取ったのです。それぞれの事情でこの資格を取りに来られた方との座学・実習は非常に貴重な体験でした。受講者の方や指導して下さる消防署の方、指導員の方の思いの熱さに私はどんどん感化されていくのです。それから、私は水歯会の中でもAEDの必要性を話したり、協会の人とは「AEDの普及のためにはどうすればいいのか」という話の中で、コンビニより多い歯科医院をうまく利用できないか、などと話すようになってきました。

もし、これを読んでくださってる先生の中で、AEDの設置を考えてくださる先生がいましたら、



お近くの普及協会や消防署に連絡いただければ詳しく話をしてくださるはずですので、聞いてみてください。水戸の先生方で考えてくださる方がいましたら、私か医療管理委員会まで言ってください。もし、水戸の歯科医院でAEDの普及率が50%を超えたら、水戸地区普及協会では主なAEDの設置場所の一つに歯科医院を加えることを検討して下さるそうです。

固い話になってしまいましたが、今の私の思っていることを書かせていただきました。きっとこの原稿が会報に出るころ、私は水戸の漫遊マラソンでのAEDを持っての立ちんぼも終わり、ほっとしている頃でしょう。次回は私のつまらない話を補ってくれる、運動神経抜群の多才で尊敬できる後輩、珂北の堀江正徳先生です。先生お願いします。



毎日の歯科医業、月末の作家業

(社)東西茨城歯科医師会 國府田 美葉

石川千恵子先生からバトンを頂きました國府田です。諸先輩先生方のような学術的な知識、高尚な趣味も持ち合わせておらず、お目汚し失礼いたしますが、ほんの少しばかりお時間を頂ければ幸いです。

とコラムの1ページです。2012年1月号で、「異能な歯科医」という特集記事にペンネーム名義で紹介され、翌月から月一の連載が始まりました。小

皆様は歯科医療経済という雑誌をご存知でしょうか？(写真1)

医療経済出版という出版社が毎月15日に発行している月刊誌です。あまり聞きなれない出版社ではありますが、茨城県歯科医師会も2013年5月号でトップインタビューを受け、その内容はカラーで掲載されています(写真2)。

歯科医院院長、歯科技工所経営者と歯科企業で活躍する人ための医療経済情報誌…とのことで、東京医科歯科大学大学院教授 川瀬孝一先生の「未

来を読み解く歯科医療経済学」をはじめ時勢に合わせた特集、鶴見大学歯科理工学教授 早川徹先生の「よくわかる・臨床に役立つ歯科材料の話」、他に「口の中から見た未来」、「管理栄養士の食支援日記」等の歯科関係者向けの専門的なコンテンツから、高須久弥先生の「YES! 歯科医療 二代目はつらいよ」、「現役歯科美女図鑑」などといった他の歯学誌にはないライトな記事も掲載されています。

私は後者である「ライトな記事」の一つを連載させて頂いています。内容は事実を元にしたフィクションの四コマ漫画



写真1 歯科医療経済/2017年9月号



写真2 2013年5月号より

説家の上田秀人先生、料理研究家の田沼敦子先生、舞台女優の一青妙先生…とそうそうたる面々の中で自分がなぜ？と土浦駅の某喫茶店で取材を受けながら疑問に思ったのですが、どうも編集長は四コマ漫画が描ける歯科医師を探されていたようで、そのまま執筆依頼の運びとなったのです。

締め切りは毎月末の25日近辺。前月号が15日に発刊し、翌月号のテーマが決まると自分の経験や友人から聞いた話をもとに、頭を抱えて構想を捻り出します。スタッフに白い目で見られながら、院内で資料を撮影。作画環境はすべてデジタル。液晶タブレットを使い、直接パソコン上でCLIP STUDIO PAINTとPhoto Shopを使って描いていきます(写真3)。同時進行でコラムをWordで執筆。こちらはおよそ280文字と短めです。

そんな月末の作家業も10月号でかれこれ69回目。次号のテーマも判明して何を描いたものか迷っているのですが…そろそろネタも尽きそうです！

もし、歯科医療経済にご興味をお持ちでしたら「デンタルブックセンターシエン社」

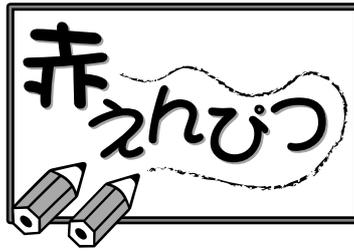


写真3 作業環境

(<http://www.shien.co.jp>)、もしくはお取引先の歯科商社へお問い合わせください(通常の書店での一般販売はされていません)。

最後はコマーシャルになってしまいました。本日は月の下旬、22日。このあたりで筆を置き、恒例の月末作家業に勤しみたいと思います。

今回は、母校の優しく頼れる先輩、西南地区の小倉直子先生にバトンタッチさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。



今年度より県函広報委員となりました。まだまだ分からない事だらけですが、早く仕事を覚え、内容の充実した広報誌作りに少しでも貢献できるよう頑張って参りたいと思います。よろしく願いいたします。

さて、実りの秋を迎え、食べ物が美味しいと感じられるこの季節、先月号のリレー通信でも紹介されておりました盛岡冷麺は私も大好物であります。東京の銀座には本場の盛岡冷麺が食べられる岩手でも有名な焼き肉店があり、買い物帰りによく立ち寄りたりしています。冷麺のみであれば、スカイツリータウンや三郷のららぽーとにも系列店がありますが、焼き肉とのコンビがやはりおすすめです。ぜひ「銀座 盛岡冷麺」で検索して訪れてみてください（キムチは別辛で注文する事をお勧めします）。

（頭文字d）

今年度より県函広報委員になりました。よろしく願います。

10月に入って、疲れてもいないのにだるい、とふと思う時があります。たまたまパソコンで「寒暖差疲労」という言葉を見つけました。朝晩の気温差、数日間の寒暖差による体の不調だそうです。寒暖差が激しいと、身体は交感神経が優位に働き、寒ければ熱を作り、暑くなれば汗をかきと、めまぐるしい温度変化に対応し、普段以上のエネルギーを使い、疲れが溜まるそうです。

この不調を解消するには、気温のアップダウンを感じにくくするのがポイントで、目元を温めた

り、炭酸入浴したりして、自律神経の働きを整えることが有効とのこと。是非試してみてください。

（幸）

台風には勝てなかった広島旅行顛末記

以前赤えんぴつにて紹介した、マツダコスモスポーツが誕生して今年が50年になった年であるため、色々なイベントが企画された。

9月16日に、広島県三次市にあるマツダのマツダ三次試験場にてマツダの関係者やコスモスポーツオーナーズクラブの海外支部員を搭乗させてのコスモスポーツの体験試乗会。翌17日には、同じ会場で全国のロータリーを愛する人達を集めての「ビードライバーエクスペリエンスat三次」。更に18日には第2回世界マツダコスモスポーツ会議が予定されていた。このイベントに参加、そして協力のため我が昭和43年式のコスモスポーツにて茨城県境町を14日に出発をした。途中5台合流し、6台7人にて三次を目指した。それが台風広島直撃の予報の為、泣く泣く16、17日のイベントが安全の為全てが中止となり、その一報が15日の13時過ぎに入る。中国道の加西市付近だった。このイベントは、一年前から、マツダ及びこの大会関係者が企画立案そして準備していたが、ルマンでは勝てたが、台風には勝てなかった。非常に悔やまれる。





が18日には
25年振りに台
風一過の暑い
広島のマツダ
本社にコスモ
スポーツにて
里帰りし、第

2回世界マツダコスモスポーツ会議が行われた。
海外からは、ドイツから二人、ニュージーランド
とオーストラリアからそれぞれ一人が参加し4カ
国からと盛大なものになり、また再会する日を誓
い合い成功裏に終わった。

広島を後にし今回最後の宿泊地は、境町から約

670キロ程の
あの赤穂浪
士で有名な
赤穂市の
「国史跡赤穂
城跡」の目



の前のホテル。台風の為、今回は余り観光が出来
無かったが、19日の朝は早く起き、赤穂城跡や大
石良雄宅跡そして大石神社の早足の散歩で、あっ
たかな心地よい汗をかくことができた。中でも大
石良雄宅跡ではいわゆる「赤穂事件」の、元禄14
年（1701）の刃傷事件を知らせる早籠が、この門
を叩いたのかと思うと歴史ドラマのワンシーンを
思い出させた。このあと大石神社を参拝し無事な
る帰還を祈願し、一路境町へ出発。

これで、無事に境町に帰途するはずだったが、
後500キロは無いと言う滋賀県土山サービスエリア
にて燃料系のトラブルにてダウン。私は、鈴鹿・
名古屋経由にて帰宅。車は翌日に積載車にて帰宅。
未だ修理の順番待ち。このトラブルは以前もあり、
人と言うと狭心症。燃料パイプかキャブレターに
ゴミが詰まり一時的にエンジンの吹けが悪くなる。
と想像しています。明日は我が身なので、日々撰
生を。

(コスモッコ)

原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科
医師会や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活
用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、
一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail id-05-koho@ibasikai.or.jp

広報委員会

みんなの写真館

Photo Gallery

平成29年度歯と口の健康に関するポスターコンクール 優秀賞作品

中学生の部



高野 ひなた



飯田 彩夏

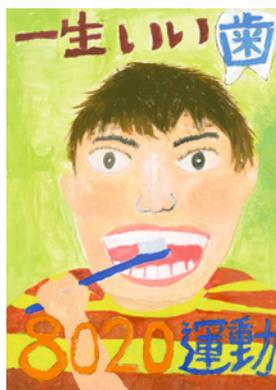


関 瑞希

小学生の部



鴨下 彩音



高橋 侑大



飯島 立生



今泉 穂香



平塚 深梨

会員数

平成29年9月30日現在

支部	会員数(前月比)
日立	121
珂北	141
水戸	154
東西茨城	70 -1
鹿行	106
土浦石岡	173
つくば	122 -1
県南	178
県西	153
西南	105
準会員	3
計	1,326 -2

みんなの写真館写真募集!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員	1,149名
2種会員	44名
終身会員	130名
準会員	3名
合計	1,326名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 29 年 11 月
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進
編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。